

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第2回 創徳中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年7月10日(金) 17:00 ～ 18:30

2 場 所 創徳中学校会議室

3 あいさつ(学校長、委員長)

(委員長)

- ・ R7の学校関係者評価書の総括をふまえ、R8の方針を決めていきたい。
- ・ 「心理的安全性」を重視し、いじめ防止基本方針を見ていきたい。
- ・ 教員の働き方改革の一つとして、本日も短時間でお願いしたい。

(学校長)

- ・ 13日から保護者会が始まる。夏休みがスタートするが、交通事故や水難事故、SNSトラブル等心配である。家庭はもちろん、地域の方にもご協力をいただき、学校も気を付けていきたい。
- ・ 3年生の修学旅行に関して、台風接近に伴い、事前に市教委や旅行会社と話し合いを重ねていたが、急な予定変更の対応に追われた。「想定外を想定する」危機管理を行っていく。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価書(今年度の活動と指針)について

ア 各担当より説明

- 1, 学力・授業改善: アンケート結果と生徒の実態に即して、昨年度より研究主題を変更している。
- 2, 長期欠席対策: コンサルテーション(専門的な SC から適切なアドバイスをもらうこと)により、教員一人ひとりのスキルアップにつながり、生徒への対応の幅が広がる。
- 3, 非認知能力育成: すべての教育活動の中で育てていく。特に、学校行事等では、振り返り活動や自己評価等を通して非認知能力育成の機会と捉える。
- 4, 地域連携: 昨年度いただいたご意見から HP の更新時にはお知らせすること、授業

参観によって生徒や学校の様子を見てもらい、会議での熟議につなげた
い。

5, 学校における働き方改革: 会議時間1時間以内や、定時退校日の設定等は4月から
すでにスタートしている。

6, 生徒指導: 今年度から人権教育部会と連携し、クラスで安心して過ごせるような具
体的な取組(「悪口ゼロ週間」、「クラスメイトの良いところを書こう」等)を
実施する。

7, 特別支援教育: 生徒一人ひとりの安心感を高めるためにも、チーム創徳として、学校
全体で取り組んでいく。

イ 協議内容(○:委員の発言、●:回答等)

○(学力・授業改善) 昨年度の今後の改善点として、「過度な負担のない研修計画にした
い」とあるが、どのような意味か。また、昨年度の活動指標には「複線型を取り入れた授
業」と入っていたが、今年度は入っていないのはなぜか。

●「過度な負担のない」とは、就業時間内に終わることができるということ。

また、昨年度は複線型にとられすぎていた部分があった。今年度は生徒の現状や実態
に応じ「自ら学び」に重きを置いているため、載せていない。

○(長期欠席対策) 昨年度まで使用していた「生徒支援シート」は今年度も使用するの
か。また、今までのそのシートはどのように保管されているのか。

●今年度も継続して使用する予定である。支援シートは現在、個人情報のため、担当者
の鍵のかかる机の引き出しに保管しているが、職員がいつでも見て支援方法等を確認
できるように、今後は鍵のついた個人情報棚に入れておくようにする。

○個人情報のため取り扱いには気を付けてほしい。

○(非認知能力の育成) 非認知能力の具体的な取組を教えてほしい。

●非認知能力は内面にかかわりのあることで、全ての教育活動で行っていく。声掛けやコ
ミュニケーションを取りながら、生徒と生徒をつなぐ役割を教師ができるようにしていく。

○(地域連携) 昨年度は吹奏楽部や合唱部が地域の行事に参加してくれた。地域と交流
する貴重な機会だと思うが、今年度はしないのか？

●10月から部活動の土日は、地域移行になるので、今までのような部活動の形での参
加は難しい。しかし、各団体に問い合わせてもらい、日程が合えば参加してもらえる。

○(学校における働き方改革) 働き方改革の一環で、この学校運営協議会の開始時間を
前倒ししたが、仕事で来られない委員もいる。時間を再考してもらいたい。また、事前に
資料を送ってもらったら時間短縮になるため送っていただきたい。

(2) いじめ防止基本方針について

ア 担当者より説明

イ 協議内容(○:委員の発言、●:回答等)

○「いじめ防止対策推進委員会」の構成メンバーの中に、校長が必要と認める者とあるが、どのような方か？

●ケースにもよるが、教育支援課の方に入ってもらったり、教育支援課窓口の弁護士をお願いしたりすることができる。

○全国では、被害生徒より学校のメンツを守っていることが多い。弁護士をたてることができるという聞いて安心した。

(3) サポート教室の現状について

ア 担当者より説明

イ 協議内容(○:委員の発言、●:回答等)

○昨年は教室内が大変と聞いてサポート教室も参観したが、今年度はどうなのか。

●現在は、静かで落ち着いた環境下で学習できている。しかし、通室している生徒の背景や課題は様々なため、難しい場面も多いが、個々の状況を把握しながら支援指導にあたっている。

4 教育支援課 東浦先生より

- ・本日は3つのテーマで熟議してもらった。子どもにかかわる関係者の方々が、同じ視点や異なる視点で学校を支えていただいている。
- ・今年度の活動と指針で各担当者から報告してもらったが、子ども「主語」にしている。これはすごく大事なことである。
- ・研修の中にあつた、「創徳ゼミ」に期待している。
- ・アンケートの数値が高いので維持するのも大変だが、子どもたちの良い発言やよい行動をしっかりと捉え、こういうところがいいよ、とほめたり価値づけていくことが大切になってくる。
- ・学校だよりの発行数が多く、地域の方に積極的に発信しているのはすばらしい。
- ・大きな事件もなく1学期を終えようとしているのは先生方の努力のたまもの。ありがたい。
- ・2学期も子どもたちが安心安全に迎えられるようにしていただきたい。

5 その他

① 教育講演会について

② 今後の学校運営協議会の日程について